



能登やさしいこめづくり情報

中干し・除草編

**田植え後1か月経過したら、
中干し開始で品質向上！！**

令和7年5月
能登米振興協議会
能登米生産者協議会
能登南部営農推進協議会
J A は く い

1 生育概況

- ・5月上旬の気温は平年より低く経過したことから、一部の圃場では活着が遅れたものの、生育は概ね順調です。
- ・5月中旬以降は平年よりも気温が高い見込みであることから、急激に茎数が増える可能性がありますので、中干しの開始が遅れないよう注意しましょう。

2 適期中干しの実施

- ✓ **田植え後1か月で中干し開始**（過剰生育を抑えて乳白粒・くず米の発生を抑える）
- ✓ **中干し期間は約1か月**
- ✓ **溝切りの実施**（中干しの効果を高める・通水管理が容易になる）

◆中干し開始・終了時期の目安

品種	開始時期		終了時期	開始時期判断の注意点
	1株当たり 茎数	平年		
早生品種	16本	6／7頃	6／25頃	<u>①田植え後1か月、または、②左記の茎数に達した時期のいずれか早い方</u> にあわせて実施し、額縁や滞水する箇所には溝切りを実施してください
コシヒカリ	14本	6／5頃	7／5頃	
ひやくまん穀	14本	6／5頃	7／15頃	

◆中干しの方法

- ① 一度に強く干し上げると根を痛めるため、徐々に田干しの期間を長くする
- ② 田面に図の小ヒビが入る程度とする
- ③ 3～5日程度の田干しと1日の通水を繰り返す（圃場の条件に合わせて管理しましょう）



（参考）中干しの程度

ほ場条件	程度と方法	開始時期と継続期間	注意点
一般田	田面に小さなヒビが入り軽く足跡が付く程度	※上記のとおり	葉色が濃い場合や分げつの発生が止まらない場合は、期間を超えて中干しを継続してください。
高地力田・湿田・生育過剰田	強め（大きなヒビを入れない程度）	一般田よりやや早めに開始、やや遅めに終了	
漏水田・砂質田・用水不足地域	田干し程度	一般田と同様	

◆溝切り作業の実施…目指すは「秋まで残るきれいな溝」!

- ① 額縁及び10条に1本の割合で実施。
- ② 溝と溝、溝と排水口は、しっかりと連結。
- ③ 田面をある程度固く(落水2～3日後)してから溝を切り、6月中旬頃に同じところを再度切り直す。



溝と溝を連結!

3 ケイ酸の施用

- ✓ 受光体勢が良くなり、**登熟が向上**
- ✓ 稲体が強固になり、**病害虫抵抗性や耐倒伏性が向上**

施用時期	肥料名	施用量
6月中旬 ～下旬	PK けいさん (0-13-11 ケイ酸 17)	40 kg/10a
	エスアイ加里 カリ投げくん	4 kg/10a ※5cm以上の湛水で施用

※「BB けい酸パワー・コシー発くん」(ケイ酸 12%配合)以外の肥料(有機入り能登コシー発、新早生一発くん、ひやくまん穀一発くん等)を使用した場合は、リン酸やカリ、ケイ酸が不足するので、必ず施用しましょう。

4 ほ場周辺の雑草地の除草

- ✓ 除草の徹底によりカメムシ生息数を減らし、**斑点米被害を未然に防ぐ**

ポイント1 カメムシの生息数を減らす!

- ☛ 6月中にはほ場周辺の草刈りを徹底
- ☛ 7月上旬に仕上げの除草を実施

R6産米
格落ち理由第1位



ポイント2 カメムシを本田に侵入させない!

- ☛ 7月11日以降は除草しない (頻繁に除草している場合は継続除草可能)
- 一斉除草期間: 7月3日(水)～7月9日(火)※出穂前**
- ※7月中旬以降の除草は、カメムシをほ場内へ追い込むため、止むを得ず除草する際は、薬剤防除直前に行いましょう。

5 中・後期除草剤使用について

- ✓ カメムシの侵入抑制のため、**ほ場内に雑草を残さない**

対象雑草名	除草剤名	散布量	使用時期・方法
ノビエ、ミズガヤツリ、ウリカワ、オモダカ、クログワイ 等	アトリ1キロ粒剤 1成分	1kg/10a	湛水散布(7日間止め水)、移植後14日(稲5葉期)～ノビエ4葉期(収穫45日前まで)
ノビエ、ミズガヤツリ、ウリカワ、オモダカ、クログワイ 等	ワイドショット1キロ粒剤 2成分	1kg/10a	湛水散布(7日間止め水)、移植後15日～ノビエ4葉期(収穫45日前まで)
ノビエ	ヒエクリーン1キロ粒剤 1成分	1kg/10a	湛水散布(7日間止め水)、移植後15日～ノビエ4葉期(収穫45日前まで)
マツバイ、ホタルイ、ウリカワ、ミズガヤツリ、オモダカ 等	バサグラン粒剤 1成分	3～4 kg/10a	落水して散布(スポット処理可能)、移植後15日～収穫45日前まで
水田一年生雑草、マツバイ、ホタルイ、ウリカワ 等	ブイゴールSM1キロ粒剤 3成分	1kg/10a	湛水散布(7日間止め水)、移植後15日～ノビエ3.5葉期(収穫60日前まで)

【重要】ブイゴールSM1キロ粒剤は薬害回避のため、気温が上昇してくる朝や高温時、6月に入ってから散布はしない。

～農作業中の熱中症に気を付けましょう～

暑さに慣れていないと熱中症になる危険性が高まります。

こまめな水分補給・休憩や通気性の良い衣服の着用など、対策を行い、日中の暑さに備えましょう!

